

この度は、NBK[®]低床除振台（高減衰タイプ）をお買い上げいただきましてありがとうございます。

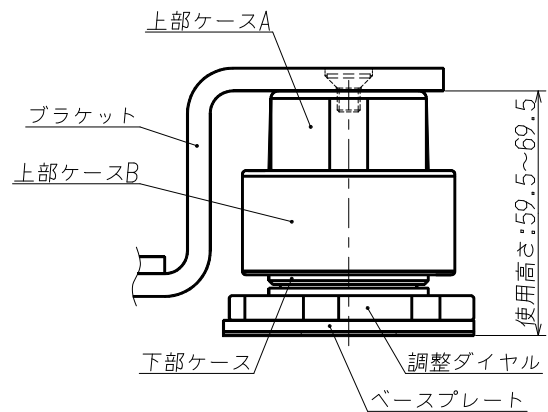
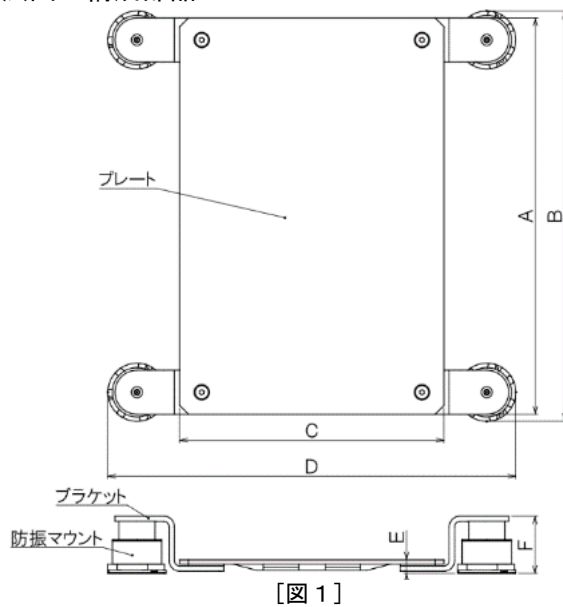


強制

取扱説明書を読み内容をご理解のうえ、末永くご使用ください。

不適切な使用は、作業者への傷害やワーク・機械・本製品の故障を起こす原因となります。

1. 寸法図・構成部品



寸法表 [表 1]

	A	B	C	D	E	F
VLS3045-***HD2	450	466	300	463	15.8~25.8	65.5~75.5
VLS3858-***HD2	580	596	380	543	15.8~25.8	65.5~75.5

F：調整ダイヤル下限時での使用高さとなります。（高さ調整機能範囲+5mm）



注意

使用・取付や輸送に関して、内部に液体を使用していますので漏れる危険性があります。そのため、絶対に逆さにしないようご注意ください。（写真1）また、もし漏れた液体を手で触ってしまった場合は、速やかに手洗いをお願いします。



[写真 1]

2. 積載可能荷重[表 2]

製品型式	VLS3045-010HD2	VLS3045-020HD2	VLS3045-030HD2	VLS3045-070HD2	VLS3045-100HD2
マウント型式	BMM040-HD2	BMM060-HD2	BMM100-HD2	BMM200-HD2	BMM270-HD2
	5~12 (kgf)	10~25 (kgf)	22~48 (kgf)	47~95 (kgf)	70~135 (kgf)
	49~117 (N)	98~245 (N)	216~470 (N)	460~931 (N)	686~1323 (N)

（参考：ブラケットを含むプレート重量：8kgf）

製品型式	VLS3858-003HD2	VLS3858-010HD2	VLS3858-030HD2	VLS3858-070HD2	VLS3858-100HD2
マウント型式	BMM040-HD2	BMM060-HD2	BMM100-HD2	BMM200-HD2	BMM270-HD2
	0~7(kgf)	5~20(kgf)	16~42(kgf)	40~90(kgf)	60~130(kgf)
	0~68(N)	49~196(N)	157~412(N)	392~882(N)	588~1274(N)

(参考：ブラケットを含むプレート重量：13kgf)

3. 低床除振台の設置

1) 低床除振台を置く、設置台を水平にしてください。(図2)

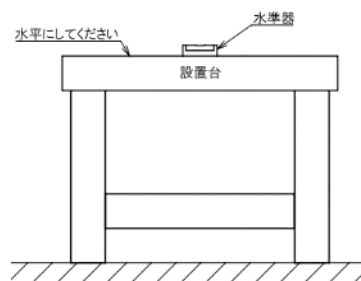
2) 低床除振台を設置台の上に水平に置いてください。(図3)

3) 低床除振台のプレートの水平を出してください。(図4)

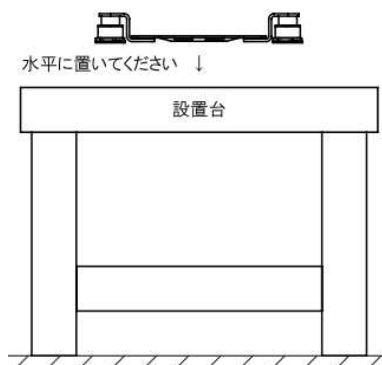
・水準器をプレートの上に設置してください。

・高さが低い所のマウントの調整ダイヤルを反時計回りに回して上げて下さい。

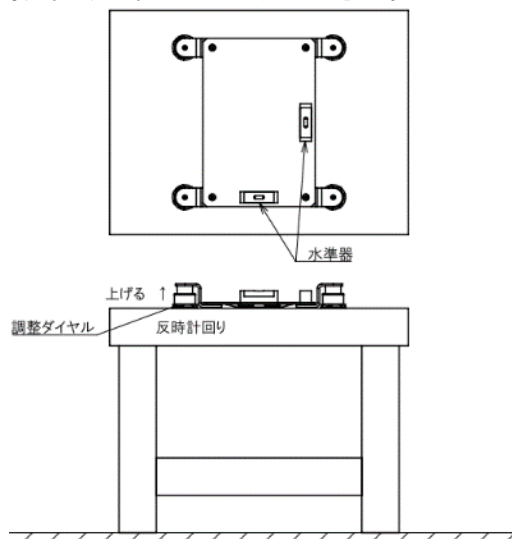
※高さ調整ストロークは5mmあります。



[図2]



[図3]



[図4]



上記作業は床に対する水平作業になります。

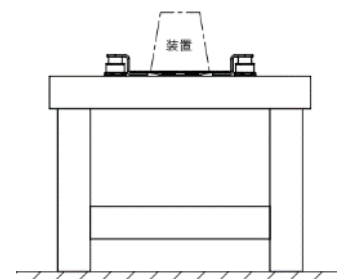
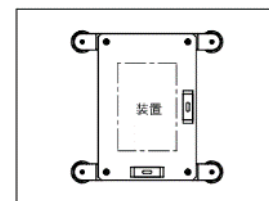
上記調整が大きい場合、除振する装置を搭載した時の水平調整範囲がなくなります。

4) 装置（顕微鏡等）を低床除振台のプレート上にゆっくり設置してください。(図5)

5) 低床除振台のプレート上の水平を出してください。(図5)

・水準器をプレートの上に設置してください。

・高さが低い所のマウントの調整ダイヤルを反時計回りに回して上げて下さい。



[図5]

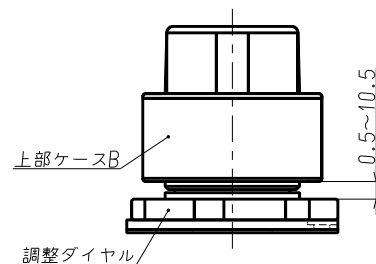
- 6) マウント上部ケース B 下面と調整ダイヤル上面の隙間が、
0.5~10.5mm の範囲にあればマウントの除振機能は発揮
されます。(図 6)

※範囲に入っていない場合

- ・装置の重心位置が移動可能→移動して下さい。
- ・装置の重心位置が移動不可→マウントを交換して下さい。

0.5mm 以下→現在より積載可能荷重の重いマウントを
組み込んで下さい。

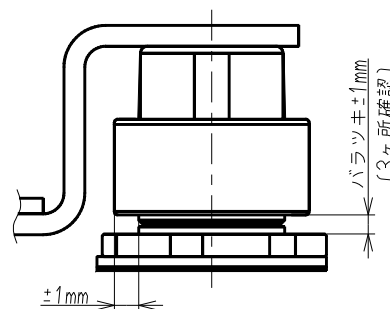
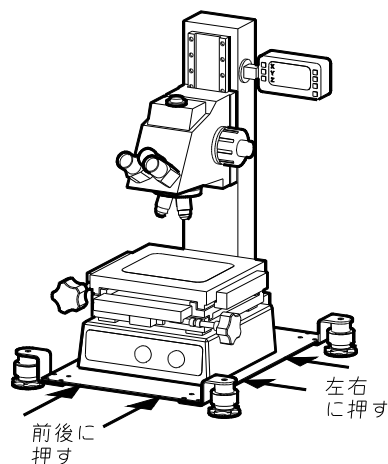
10.5mm 以上→現在より積載可能荷重の軽いマウントを
組み込んで下さい。



[図 6]

4. 振動が取れない時の対処方法

- 1) 装置を前後左右に押し、(目安: 装置荷重の 3% 程度の力) マウント部の可動範囲が $\pm 1\text{mm}$ 程度か確認して下さい。(不可の場合は 3-2) 作業からやり直して下さい。(図 7)
- 2) マウント単体の水平バラツキが 1mm 以下であるか確認して下さい。(図 7)
バラツキがある場合は、設置台が大きく傾いております。設置台を水平にして下さい。



[図 7]



除振する装置重心が大きく崩れていると水平は崩れます。

その場合は、出来るだけ水平が崩れない位置へ装置の設置をお願いします。

除振台に荷重が載っている状態での装置の移動は、マウント上部ケースと下部ケースが
ずれて、除振性能が発揮できない可能性がありますので十分ご注意下さい。

SINCE 1560
株式会社 ナベヤ

URL: <http://www.nabeya.co.jp/>
E-mail: nabeya@ons.co.jp

制振技術部

TEL: 058-201-0107

FAX: 058-201-0108

本社

TEL: 058-273-6521

FAX: 058-278-0220